

令和5年

# 第5回教育委員会会議録

(開会 令和5年4月14日)

(閉会 令和5年4月14日)

岐阜県可児市教育委員会

令和5年4月14日午前9時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

### 出席委員

堀部好彦君（教育長）

長井知子君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

### 説明のために出席した者

飯田晋司君（事務局長）

佐野政紀君（学校教育課長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

真野純次君（学校教育課指導主事）

可児浩之君（保育課長）

重本剛史君（教育総務課主任技術員）

水野 修君（教育総務課長）

水野伸治君（学校給食センター所長）

三宅愛彦君（教育研究所主任指導主事）

田島純平君（地域協働課長）

古野 寿君（教育研究所指導主事）

大村知里君（学校教育課主事）

### 出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

### 日程及び審議結果

1 開 会

2 令和5年度転入職員の紹介

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①報告第2号 令和5年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動について

（原案承認）

②報告第3号 可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

（原案承認）

③報告第4号 可児市社会教育委員の委嘱について

（原案承認）

④議案第14号 令和5年度可児市教育委員会の方針と重点について （原案可決）

⑤議案第15号 可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱について （原案可決）

6 報告事項

①教育長への事務委任により委嘱または任命した委員について

②令和4年度学校給食費の収納状況について

③瀬田幼稚園の認定こども園移行について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

### 開会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** おはようございます。  
第5回の教育委員会会議を開催させていただきます。  
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりまして、よろしくお願いいたします。

### 令和5年度転入職員の紹介

- **教育長（堀部好彦君）** 今年度転入職員の紹介を最初にさせていただきたいと思っております。
- **事務局長（飯田晋司君）** おはようございます。  
令和5年度の定期人事異動により、4月1日付で7人が転入しました。  
資料の別紙1を御覧ください。  
一番最後のページ、一覧表になっておりまして、こちらが教育委員会事務局分をまとめたもので、下の表が転入者一覧となっております。  
順次、自己紹介させていただきます。  
私、3月まで教育総務課長を1年間務めさせていただきました。この4月の異動で教育委員会事務局長ということで、立場は変わりましたが、どうぞよろしくお願いいたします。
- **教育総務課長（水野 修君）** 改めまして、おはようございます。  
この4月から教育総務課長をやらせていただきます水野と申します。よろしくお願いいたします。
- **学校給食センター所長（水野伸治君）** おはようございます。  
3月までは防災安全課でお世話になっておりましたが、この4月から給食センターの所長としてお世話になることになりました。よろしくお願いいたします。
- **教育総務課総務係長（木村雄大君）** 教育総務課総務係長の木村でございます。よろしくお願いいたします。
- **教育研究所指導主事（古野 寿君）** おはようございます。  
4月から教育研究所指導主事ということでお世話になります。古野寿と申します。よろしくお願いいたします。
- **教育総務課主任技術員（重本剛史君）** おはようございます。  
4月から教育総務課施設係に異動になりました重本と申します。よろしくお願いいたします。
- **学校教育課主事（大村知里君）** おはようございます。  
4月から入庁いたしました学校教育課の学校教育係の大村知里と申します。よろしくお願いいたします。
- **事務局長（飯田晋司君）** 以上新しいメンバー、どうぞよろしくお願いいたします。
- **教育長（堀部好彦君）** 転入者の職員の方、ありがとうございました。退席をお願いいたします。

（新規転入職員（課長級以外）退席）

## 教育長報告

○ 教育長（堀部好彦君） それでは、教育長報告に移ります。

お手元の資料でリーフレット、こちらと、それから御入学おめでとうございますという令和さくら高等学院の両面的なものがあると思いますが、これを使って大きく2点、お話をさせていただきたいと思います。

まず、このリーフレットでございますが、令和5年度可児市学校教育指導の方針と重点と書いてございます。昨年度も違う色のものでお渡しをしておるものですが、これは市内の小・中学校の教職員に向けて発信している方針と重点です。可児市の学校教育で大切にしていきたいことを示したもので、主に指導面について記載しています。校長会、教頭会で、これを使って今年度こんなことを頑張らましようという投げかけをした中身についてお伝えをしたいというふうに思いますので、よろしくお願いをします。

まず、「笑顔の“もと”」のロゴマークが載っている1ページ目、最初のページでございますが、「笑顔の“もと”」のロゴマークについて説明をさせていただきました。市民公募も踏まえてつくりましたよと話をしました。転入の校長先生、教頭先生もいらっしゃいますので、そういう話をさせていただきました。

そして、本市の教育の根底には、子供の命を守るということがあるということを強調させていただくとともに、笑顔の学校第2ステージであるということで、前教育長が掲げた笑顔の学校を受け継いで、今は第2ステージであるということです。それで、第2ステージの目標、目指すものを強調させていただきました。それは、このページの一番下の段落です。ここを読ませていただきます。

これらの資質・能力・心情を「笑顔の“もと”」とし、自分には今だけでなく、未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」があることを一人一人が自覚していけるようにします。「一人一人が自覚していけるようにします」です。そうすることで、自分の「笑顔の“もと”」について自信を持って語ることでできる子供を育てます。これが第2ステージの目当てですというふうに強調させていただきました。

1つめくっていただいて、教育大綱と教育振興基本計画のページでございますが、大綱と基本計画のイメージ図ですということで話をさせていただくとともに、今年度この大綱と基本計画については改定をしますということで、また校長会においては、校長先生方の代表でまた御意見をいただくこともありますので、よろしくお願いますなんていう話をさせていただきました。

そして、A3のサイズで全部広げていただいて、このA3のサイズの左半分、このページについて時間を特にとって話をさせていただきました。このページが一番教育委員会として力を入れているところなんですよというお伝えをしました。

未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を育む教育というふうに書いてございますが、その下、学校のところ、これが一番上に来ているんですね。この意味をお伝えしました。各校の特色ある教育活動、2つ黒ちよぼがございまして、この特色ある教育活動を一番教育委員会としては期待をしていますという話をさせていただきました。

では、特色ある教育活動って何なのということで、特色あるなんていうと、奇をてらった、どこもやっていないようなというようなイメージをするかもしれないんだけど

も、そういう意味ではございません。私が考える特色ある教育活動の条件は、ただ一つですとお伝えをしました。その条件とは、教職員、保護者、地域がどんな「笑顔の“もと”」を育むのかということについて共通理解している、思いを共有している、みんなでこんな子供を育てましょうよ、こんな資質・能力を身につけさせましょうよというものみんなで共有している。そういった共有が基盤にある教育活動のことを私は特色ある教育活動と申し上げたいとお伝えをしました。ただ、これはとても難しいですよ。地道に、校長先生、教頭先生を中心に地道にじっくりじっくりやりながら、その共有を広めていってほしいというお話をさせていただきました。

この共有ができれば、学校の先生も保護者も地域も本気になって子供を育てていく、その本気度が高まると思うんですよ。活動ありきではなくて。こんな活動やりましょう、あんな活動やりましょう、こんなこと工夫しようだけだと、やっぱり形骸化すると思います。本当にこんな子供を育てていきたいんだという思いをどこまで高めて共有できるかというところが校長の腕の見せどころではないかなと思っています。コミュニティ・スクールについても全く同じ思いでございます。ということで、一番上にある意味合いを今のようなお話で伝えました。

そして、その次にお話をしたのは、真ん中ちょっと飛ばして一番下です。

教師と児童・生徒というふうに書いて、四角が2つになっているんだけど、公表会のことだとか、キャリア・パスポートのことについて書いてございます。これは、なぜここにこんなふうに位置づけているかということ、これは「笑顔の“もと”」を育む教育の評価の場ですよ、または自覚の場ですよというふうにお話をしました。さっき言ったように、語るができる子供、自分の「笑顔の“もと”」はこうだというふうに語るができる子供にしていきたい。そのために、こういうことをやります、ああいうことをやりますよというだけではなくて、本当に身についた、本当に語れるものというところを確かめる場がこの2つであるというふうに捉えています。そんな話をさせていただきました。

そして、この方針と重点の締め、最後にお話をしたのは教育委員会のスタンスです。教育委員会は、各校を支援する重点事業というところから始まっています。この3行の最後の言葉、「支援する」とあります。「笑顔の“もと”」を育む活動を支援していきますということで、その支援の中身がその下に全部で9つ書いてございますが、これ以外にも生徒指導のことだとか、教職員の指導だとか、いろんなことがあるんだけど、あえてここには「笑顔の“もと”」ということで直結するような取組ということで9つを載せさせていただきました。この中身については、今詳しくは申し上げませんが、昨年度までやってきた活動もたくさん位置づいておりますので、大体はイメージされるのではないかなあと考えています。

ということで、教育委員会は支援に徹すると。学校の教育活動の支援、教職員の支援、子供の支援に徹していきたいという核をお伝えして私の話を終わりましたという報告でございます。これが1点目です。

2点目の報告は、もう一枚、両面で印刷してございますが、これは令和さくら高等学院の入学式に参列したときの報告です。4月10日月曜日にお招きいただいて行ってきました。

令和5年度の入学生は21名ということです。その中でも可児市の生徒が7名ということで、中学校を卒業した子たちで発達障がいを抱えている、または不登校傾向が深まっている、そういった子たちの受入れの通信制サポート校ですので、可児市の子供たちもこれだけお世話になっているということを御承知おきください。

そして、裏面には私の祝辞を求められましたので、祝辞の原稿そのまま載せさせていただきました。卒業式にも呼ばれましたので、卒業式の子供たちの姿も保護者や新入生にお伝えをしながら、すばらしい学校であると、開校4年目でこれだけの成果を上げている学校、すばらしいですねというお話をさせていただきました。御承知おきください。

以上で、私の報告を終わらせていただきます。

## 教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） では、教育委員報告。
- 教育委員（小栗照代君） おはようございます。お願いします。

1か月間の参加した行事についてお話ししたいと思います。

まず4月3日ですが、新規採用教職員研修会のほうに出席させていただきました。皆さんも御出席されたんですけども、新しい先生一人一人がどんな教職員になりたいかということで一人一人の思いを話してくださいまして、夢とか希望を持って、初々しくてパワーがみなぎる、そういった新しい先生のお姿を拝見することができました。とても今後の活躍が楽しみだなと思いました。

続いて7日ですが、東可児中学校の入学式のほうに参列させていただきました。2週間前に小学校の卒業した姿も拝見させていただいたんですけども、新しい制服に身を包んで、緊張しながらもりりしく思いました。この先の成長が楽しみだなと思いました。

それから、校長先生もお替わりになりました、お話のほうを伺ってまいりました。新1年生がとてもしっかりしている印象だから、これからが楽しみだというお話と、それから早速5月から体育祭や修学旅行が始まってくると。そして、東可児中学校は若い先生が大変多くて生き生きとしたイメージであるというお話ですね。それから、前の校長先生よりコミュニティ・スクールのお話を引き継いでいる。地域の挨拶回りをしたときに、御高齢の方がとても元気で御活躍されていらっしゃる地域なので、今後1年間かけてコミュニティ・スクールの準備をしっかりと、地域の方々にしっかりと御理解をいただいて、桜ヶ丘小学校と連携して進めていきたいと。皆様に御協力いただけるような体制のある地域なのでというお話をしてくださいました。

続いて、桜ヶ丘小学校の入学式のほうにも行ってまいりました。昨年度まではコロナ禍でしたので、保護者の方が各家庭1人の参加だったんですけども、今年度は2人までということに変更して開催をされました。今回は入場がなしで、着席した状態で開始をしました。普通は子供たちが入場してくる、それが無いということで、保護者の方と1年生が隣同士に前のほうに座って、もう一人の保護者の方が来ていらっしゃる方は後方に座ってということで始まりました。これはどうしてかということなんですけど、昨年、子供だけで並べないお子さんがいらっしゃったというようなことがありましたので、今回は保護者の方と一緒に並ぶことにしましたと。教頭先生のお話を伺いますと、旭小学校で以前そういったことをやって成功したという経験があったので、昨年度の座れな

いというような状況も踏まえて、今回は保護者の方と一緒に隣同士に座っていただくというふうな形にしたということでございました。

入学式の日はいにくの天気で、かなり強い風や雨により、子供たちも服がぬれてしまったりとか、寒くてトイレに頻繁に行ったりというような状況でしたので、通常よりも本来だったら時間がかかるんでしょうけれども、保護者の方々と一緒に移動していただいたりというようなことを取ったので、保護者の方が御自分のお子さんの面倒を見てくださったので結果的には整列も早くできて、時間どおりに開始することができてありがたかったというお話でございました。

通常ですと、1年生の子を並ばせるのに、1クラスで大体5人ぐらい先生が要るというのをおっしゃってしまして、人手不足なんですけれども、そういう意味では保護者の方が御誘導とかしてくださったので、こういったやり方もよかったのではないかなというようにお話をしてくださいました。

それから、コミュニティ・スクールのお話なんですけれども、東可児中学校と連携をして今年度土台づくりをしっかりしていきますと。東可児中学校の校長先生と一緒にやっというお話をかなり煮詰めてくださっていたんですが、異動になってしまわれたので、ちょっと話が違うじゃないという冗談をおっしゃっていらっしゃったんですけれども、新しい校長先生ともしっかりと連携を取っていきたいというお話をしてくださいました。

続いて、入学式にお伺いできなかったのも、ちょっと東明小学校のほうを訪問させていただきました。校長先生も教頭先生もお替わりになりましたので、お顔をちょっと拝見したいですということでお邪魔させていただいたんですけれども、大変子供たちがしっかりしていて素晴らしいと。挨拶もしっかりできる。地域の方々も積極的に見守りなどをしてくださって、本当にありがたい地域だということをおっしゃってました。お米作りなども今年行うんですが、そういったことを毎年お願いしている方に御協力をお願いしたら御快諾くださって、大変協力的だということでもございました。

5月以降は、調理実習や、それから東明小学校らしい活動、例えばお茶会とかそういったものも、コロナ禍も落ち着いてきたのでどんどん復活していきたいと。城跡などの見学など、この地域だからこそ学べることを子供たちに伝えていきたいんだということでした。子供の人数が少ない分、地域の方々との交流を特に大切にして、子供たちのコミュニケーション能力の向上や、それから強い子に育てていきたいというような校長先生の思いをお伺いすることができました。

いろいろな学校で校長先生や教頭先生のお話を伺ったんですけれども、しっかりと前任の先生から引継ぎをしてくださり、それからそれぞれの学校に合わせて、子供たちのために新学期を進めていただく準備ができているということで、大変ありがたいなと思って帰ってまいりました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

大変うれしい御報告で、3つの学校が順調にスタートした様子が大変よく分かりました。東可児中学校の村上校長は、この間の校長会でお会いしたときに、どうですかと言ったら、開口一番、何とおっしゃったかという、職員若いわあって。

○ **教育委員（小栗照代君）** おっしゃいましたか。

○ **教育長（堀部好彦君）** 開口一番そうやった。大変新鮮な気持ちで取り組んでおられる様子が伝わってきました。東明小学校と桜ヶ丘小学校とともに、コミュニティ・スクールのことを今おっしゃってくださったんだけど、今の御報告は大変ありがたいなあと思いました。校長先生方が新たな気持ちでコミュニティ・スクールも含めた学校経営をしっかりとやっておられる、いいスタートを切れた感じが伝わってきて大変うれしかったです。ありがとうございました。

○ **教育委員（長井知子君）** おはようございます。よろしくお願ひします。

私も、4月の初旬に旭小学校と中部中学校の入学式に行ってきました。旭小学校では、小栗委員の報告と同じように、子供と保護者が一緒に座るというスタイルを取っていました。そして中部中学校の入学式では、新しい制服を身にまとった子供たちがとても落ち着いていてすばらしかったです。

入学式が終わった後に校長先生とお話しする中で、コミュニティ・スクールのことをお聞きしました。中部中学校では、職業体験を通して地域の方々と子供たちを育てていきたいというスタイルを取りますということで、その職業体験にした校長先生の思いは何ですかとお聞きしたら、親さんを尊敬する気持ちを育ててほしいという思いがありますとおっしゃっていました。何でもそうですけれども、組織というものは、トップの思いは先ゆく人たちになかなか伝わりにくいので、そんな校長先生の熱い気持ちや優しい思いが子供たちに伝わって、それが受け取ってもらえたらいいなあと思って帰ってきました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** これもまたありがとうございました。

校長に対して、教育委員会が大切にしている指導の視点、例えばコミュニティ・スクール、これをきちっと校長に対して質問をしていただけること、大変ありがたいですし、さらにすごいなあと思ったのは、その心はと、なぜそれをやっているのという背景というか、そこまで突っ込んでお話をされて校長の考えを引き出しておられるところ、本当にありがたいなあ、すばらしいなあというふうに思います。そういったやり取りの中で、教育委員会が目指していることが学校に浸透していくんじゃないかなあというふうに思います。ありがとうございます。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお願ひいたします。

4月3日に、皆さんと同様の新規採用教職員研修会に出席しました。先生方が自己紹介している話を聞きながら、本当に先生の目元がすごく生き生きしていて、輝いているのがすごく印象的で、皆さん言われる話の中に、子供たちと一緒にという、自分も一緒に成長していくというようなニュアンスがすごく含まれていたんで、本当に今後この先が楽しみだなと思って、その話を聞いていました。

7日のほうは、広陵中学校と春里小学校の入学式に出席してきました。広陵中学校は、新しい制服の子たちが8割ぐらいいました。虹ヶ丘の団地の再開発の影響により、今年の新1年生は99人と人数が増え、体育館も見ると、何か今までがらんとしていたんですけども、いっぱいになってきたなという印象を受けました。女子生徒も、1人だったんですけど、スラックスをはいている子もいまして、ブレザーというか、制服を変えたことで、子供が自由に選べるという意識も伝わってきてよかったなというのを感じました。



春里小学校のほうは、今まで小学校の入学式とかに出ている、ステージの上で祝辞を読むとかしていたんですけど、今年、春里小学校では、子供たちと保護者と同じ高さで、上につくらずに、下の高さで校長先生の式辞だったりとか祝辞だったりとかという挨拶をされていて、校長先生が前から考えていて、ぜひやりたくて今年実施したとおっしゃっていたんですけど、その中で、普通ですと児童会も6年生の子が新入生に向けていろんな学校の内容を、こんなふうだよといったお話があると思います。今年は、昨年まで1年生だった今年進級した2年生の男の子が、自分が入ってどういうふうだったとか、こういうことをやってみたとかというすごく身近な、一段と、たぶん新入生の子たちには身近な存在……。

○ **教育長（堀部好彦君）** 2年生の子がしゃべったんですか。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** 2年生の子がしゃべりました。それも、多分校長先生がこの子にお願いしますみたいな感じでやったそうなんですけど、すごく上手に、緊張しながらも上手にしゃべっていて、子供たちもすごい真剣になって話も聞いていましたし、すごい楽しみだなあとと思って、1年ですごく成長する姿ってすごいなあと見てまいりました。

あと、真ん中に立つときはもちろん子供たちも先生とか話ししている人の顔を見るんですけど、たまたま司会者のほうの場所で長く話す時間があったんですけど、そのときも、みんなそちらの、体を斜めにしてみんな見ている、今年の子はすごいなあとと思って見てまいりました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。うれしい御報告で。

春里小学校の中島校長の意気込みが感じられるお話で、やっぱり校長が本当にやる気で一生懸命取り組んでくださっている。当たり前かもしれないんだけど、私としてはそういう姿を見せてくれるというのはうれしいです。悩み多い危機管理の連続で、本当に大変な学校現場なんだけれども、そういう中で新しいことをやってみようと、子供たちを前面に出して雰囲気盛り上げようなんていう取組をやってくださっていること、本当にうれしく感じました。

それと初任の先生方のお話、私もいろいろ感想を思ったんですけど、先ほどの子供たちと一緒にというスタンス、大変いいスタンスだなあとと思って、私もそれを忘れたなあと今思い出しているんですけど、また学校訪問で初任の方とお話をするような機会がもしあれば、また声をかけてあげてください。よろしくお祈りします。ありがとうございます。

○ **教育委員（梶田知靖君）** おはようございます。

私も、4月3日に新規採用教職員研修会のほうに出席をさせていただきました。どの先生も本当に子供たちの笑顔を見守ってくださるばかりの先生たちで、活躍が楽しみだなあと思いました。教育長の訓示で、頑張ってくださいという言葉もありつつ、頑張り過ぎないようにという温かい言葉もあって、本当に先生、教職員だけではないんですけど、4月からスタートして、うまく息抜きができるといいなあと思いました。

4月7日に、蘇南中学校さんと土田小学校さんの入学式のほうへ出席をさせていただきました。前日までの予報だと本当に大雨警報が出るなんていうようなことで、事務局の皆さんも本当に判断に悩まされたと思います。ありがとうございます。

中学校の入学式では、新しくなった制服を拝見させていただきました。それから、蘇南中学校さんには新規採用の先生が3人行かれました、校長先生から、その新しい先生は1年生が2人、2年生1人担任を持つというお話を聞くことができました。それから、今度の新1年生の学年主任の先生は、昨年卒業された3年生の子たちを見ていらっしゃる先生で、その卒業した子たちを1年生から3年生までずっと見届けて、蘇南中学校のほうに5年間在籍していらっしゃるということで、今度また1年生の学年主任ということで本当に頼もしいなあと思いました。子供たち、保護者の方も安心したんじゃないかなあと思います。それこそ入学式後に保護者の方に説明をしていらっしゃるんですけども、蘇南中学校はやっぱり外国籍の保護者の方もいらっしゃるって、ちょっと私、言葉は分からなかったんですが、先生がフィリピンの言葉であったりとか、そういった言葉を使いながら説明もしていらっしゃるって、すばらしいなあと思いました。

それから、午後からは土田小学校さんのほうへ出席をさせていただきました、こちらはやっぱり大雨の影響で少し入学式が遅れておりましたので、先に今年度いらっしゃる木村校長先生とコミュニティ・スクールについてお話をさせていただきました。土田小学校にいらっしゃる前は神淵のほうの学校に行っていたということで、それこそ過去に木村校長先生は教育委員会にも在籍していらっしゃるということで、そんなお話も聞かせていただいたんですけども、神淵の頃には、コミュニティ・スクールということで、地域の方々が学校のいいことは特に教えてくれなくていいと。何に困っているんだと。困っていることをもっとオープンに話してくれというふうなお話を受けて、いろんなことで助けていただいたそうです。木村校長先生も、まだこれからということなんですが、地域の方々に声をかけて、登下校の見守りであったりとか、あとは図書館の本整理だったりとか、そういったことを地域の方にお願ひできないかなということもおっしゃってみえました。本当に頼もしいことばかりで、また何かお話が進んだら、またお話をお伺いしに行こうかなあと思います。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

梶田委員からも大変うれしい報告を聞かせていただきました。

蘇南中学校の学年主任、3年面倒を見た子たちが卒業して行って、再度1年生の学年主任ということで、その学年主任は、入学した子たちが3年生になるまで主任をやるかどうかというのは、これは人事のことなので分からないんだけど、一通り1年生・2年生・3年生と大規模校の学年主任をやりながら、卒業のイメージをきちっと持っておられる方でしょうね。なので、入学した13歳になる子たちを見て、この子たちが15歳になって卒業するときには、こんなふうになって卒業して行ってほしいなあという具体的なイメージを必ず持っていらっしゃると思う。そのために、3年間の見通しを持って指導をされるんだろうと思っています。そういう力をきっちり持っておられるだろうなあ、大規模校の学年主任を3年間も務めた方なので。そんなことを思いながらお聞きしました。

それから、コミュニティ・スクールについても、またいろいろ話を聞き出していただいてありがとうございます。梶田さん、今のお話の最後に、今後もこれからもコミュニティ・スクールについて見届けていきたいというふうなお話もしていただいたんですけど、これも本当にありがとうございます。学校にプレッシャーをかけてはいけないと

思うんですけども、どんな様子なのかということ聞き出していただくことは大変ありがたいですし、そういったやり取りの中で学校の特色をつかむこともできるだろうし、また、あと教育委員としてお礼やら、価値づけもできるかと思いますので、今後もよろしくお願いをします。

4名の教育委員さん全て、本当に年度当初なんだけれども、学校の様子を本当にきちっとつかんでくださり、そして校長先生方との人間関係もつくっていただけているような感じがして本当にうれしく思いました。ありがとうございました。

## 議事

○ **教育長（堀部好彦君）** では、次に議事に入ります。

○ **事務局長（飯田晋司君）** 議案書を御覧ください。

表紙の裏のページ、目次のとおりでございます。本日は報告が3件、議案が2件です。

報告第2号 令和5年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動について、報告第3号 可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、報告第4号 可児市社会教育委員の委嘱について、議案第14号 令和5年度可児市教育委員会の方針と重点について、議案第15号 可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱について、以上5件についてよろしくお願いたします。

○ **教育長（堀部好彦君）** その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については非公開といたします。

第1番目、報告第2号 令和5年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動についてを議題といたします。

○ **教育総務課長（水野 修君）** それでは、私のほうから令和5年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動についてを説明します。

それでは、お手元の議案書1ページを御覧ください。

報告第2号 令和5年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動について。

令和5年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求めます。令和5年4月14日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記といたしまして、専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和5年4月1日専決、可児市教育長 堀部好彦。

その下に内容があります。

記、令和5年度可児市教育委員会事務局の人事異動を次のとおりとする。

1. 異動者の内訳数ということで、令和5年度の可児市教育委員会事務局の人事異動の異動者の内訳は14名です。内訳は転出者7名、転入者7名の計14名でございます。

続きまして、2. 異動内容でございます。

別紙1. 可児市職員人事異動を御覧いただきたいと思います。

先ほどもちょっと見ていただきましたが、4月1日専決の異動内容を記載してございます。中を見ていただきますと、教育委員会事務局職員のほうに網かけがしてあります。

12ページを見ていただきますと、こちらのほうには教育委員会の転出者と転入者が記載してありまして、13ページからは、異動職員の異動前と異動後が階層順に記載してございます。

先ほども見ていただきました最後のページのほうに、教育委員会事務局職員の関係を抜粋して記載してございますので、参考にしていただきたいと思います。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明について御質問、御意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認いたします。

では、報告第3号 可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

○ **教育総務課長（水野 修君）** 報告第3号でございますが、堀部教育長と小栗委員につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定によりまして、自己に直接の利害関係のある案件でございます。

したがって、本件議事に参与できないことになっておりますが、同項ただし書の規定によりまして、教育委員会の同意があれば、会議に出席し発言することができますので、取扱いについて御検討をお願いいたします。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** 今、事務局の説明ございましたが、この点に御異議ございませんでしょうか。

よろしいですか。

〔「異議なし」の声あり〕

では、異議がないようですので、このまま出席を続けるということにしたいと思います。

では、議事について。

○ **学校給食センター所長（水野伸治君）** よろしく申し上げます。

議案書の2ページになります。

報告第3号 可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について。

可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求め。令和5年4月14日提出、可児市教育長 堀部好彦。専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和5年4月1日専決、可児市教育長 堀部好彦。

3 ページを御覧ください。

可児市学校給食センター設置条例第8条の規定によりまして、名簿に記載のとおり  
13人の方を運営委員会委員として委嘱するものでございます。

期間は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までとなります。以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいま説明いただきましたが、これについて質疑、御意見  
見ありますでしょうか。

よろしかったでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

特に御意見ないようですので、この件は原案のとおりとすることに御異議ございませ  
んか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これについては原案のとおり承認いたします。

次に、報告第4号 可児市社会教育委員の委嘱についてを議題といたします。

- **地域協働課長（田島純平君）** 報告第4号についてお話しさせていただきますので、  
よろしくお願ひいたします。

4 ページ目を御覧ください。

報告第4号 可児市社会教育委員の委嘱についてです。

可児市社会教育委員の委嘱について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、  
承認を求める。令和5年4月14日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分  
する。令和5年4月1日専決、可児市教育長 堀部好彦。

記、可児市社会教育委員を次のとおり委嘱する。

1. 名簿、次ページのとおりということで、5 ページ目を御覧ください。

令和5・6年度可児市社会教育委員名簿です。新規の方は3人、1番目、5番目、11  
番目の方が新規となっております。そのほか11名の方は継続の方でございます。

戻りまして、2. 委嘱期間は令和5年4月1日から令和7年3月31日まで。

委嘱理由は任期満了によるものでございます。委嘱人数は合計14人でございます。

なお、委員は、社会教育法第15条第2項の規定により教育委員会が委嘱することにな  
っていますが、推薦団体の諸事情により、その推薦に時間を要し、事前に教育委員会に  
お諮りすることができなかつたため、教育長の専決処分といたしましたので、本日教育  
委員会に承認を求めるものでございます。

以上、よろしくお願ひいたします。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいま説明いただきましたが、これについて質疑、御意  
見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

特に御意見ないようですので、この件は原案のとおりとすることに御異議ございませ  
んか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これについては原案のとおり承認いたします。

- **地域協働課長（田島純平君）** ありがとうございます。失礼します。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

（地域協働課長退席）

次に、議案第14号 令和5年度可児市教育委員会の方針と重点についてを議題といたします。

- **事務局長（飯田晋司君）** 議案書6ページを御覧ください。

議案第14号 令和5年度可児市教育委員会の方針と重点について。

令和5年度可児市教育委員会の方針と重点を別紙のとおり定める。令和5年4月14日提出、可児市教育長 堀部好彦。

続いて、資料の別紙2を御覧ください。

令和5年度可児市教育委員会の方針と重点でございます。

表紙をめくっていただきますと、裏面ですが、可児市教育大綱が載せてございます。今年度も引き続き、この大綱に基づいて取り組んでまいります。

なお、現在の教育振興基本計画ですけれども、令和2年度から令和5年度が計画期間であるということで、今年度中、今年度末頃に改定いたしますが、それに先立って、その計画の大本となる教育大綱を今年度先行して改定いたします。昨年度、総合教育会議で教育委員さんと市長が意見交換を行っていただいた内容なども踏まえてのことになるかと思います。

今見ていただいておりますこの方針と重点ですけれども、教育振興基本計画を基につくられているということで、令和6年度からが次期計画を基にしてつくられるということになりますので、御承知おきお願いいたします。

それでは、1ページを御覧ください。

令和5年度の予算の概要でございます。

一般会計の総額は、前年度と比べて6.6%増の318億3,000万円です。うち、教育費は全体の14.0%、44億5,000万円強で、前年度に比べて約6億6,000万円強の増額となっております。これは、電気料金などの高騰による光熱水費の増額や小学校の照明LED化工事の実施、広陵中学校の屋内運動場屋根・外壁改修工事を実施することなどが主な要因で、このように増となっておりますのでございます。

下の円グラフが教育費の内訳です。比率が高い保健体育費では学校給食センターの管理運営経費が、また社会教育費では文化創造センター管理運営経費が大きなウエートを占めておるという内容でございます。

また、2ページでございますが、令和2年度から始まった第2期可児市教育振興基本計画の基本目標と施策の体系が一覧となっております。この後、各課で施策の取組を説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

- **教育総務課長（水野 修君）** それでは、教育総務課でございます。

これから各課が説明してまいります重点項目につきましては、第2期可児市教育振興基本計画の基本目標と施策に沿って設定したものでございます。また各課の説明の際には、重点的に取り組む内容のうち、さらに特筆すべき事項を説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、資料の3ページを御覧いただきたいと思います。

施策ごとの重点項目の欄を見ていただきたいと思います。

まず、ICT活用の推進です。年度が替わる際の教室の増減に伴う大型提示装置の新設・移設などの整備、調整等を行ってまいります。

続きまして、学校施設環境の整備、管理につきましては、引き続き可児市公共施設等マネジメント基本計画に基づきまして計画的に学校施設を整備してまいります。今年度は令和6年、令和7年度に計画しております桜ヶ丘小学校校舎大規模改造の実施設計業務を実施していきたいと考えております。

それから、文部科学省では、国土強靱化計画に基づく中長期の目標といたしまして、公立学校トイレの洋式化率95%の達成を掲げております。本市においても、小・中学校のトイレ洋式化につきましては、国土強靱化計画に基づき取り組む施策に位置づけておりまして、令和8年度末の工事完了を目指しております。このことから、令和5年度の早期に可児市小・中学校トイレ改修計画を策定いたしまして、計画的に実施してまいります。そのうち今年度は、小学校は今渡北小学校、今渡南小学校、それから春里小学校の3校、中学校は蘇南中学校と中部中学校の2校のトイレ大規模改造工事の設計業務を委託してまいります。

また、その他の設計業務といたしまして、中部中学校屋内運動場の屋根防水改修工事の設計業務を委託いたします。そのほかに脱炭素社会の実現に向けた取組といたしまして、小学校校舎と屋内運動場の照明のLED化工事を実施していきます。その他大きな整備といたしましては、広陵中学校屋内運動場屋根・外壁改修工事、中部中学校の屋内運動場屋根防水改修工事を実施いたします。また、多くの学校でプール施設が経年により老朽化しておりますので、今後のプール授業の在り方に関する検討会を設けまして、施設の統合や集約、及び授業の民間委託等も検討していきたいと考えております。

それから、いじめの未然防止と早期対応の充実につきましては、いじめ重大事態調査委員会の適切な運営を行ってまいります。

それから、適正な教育委員会の運営につきましては、教育委員の皆様と相談をしながら、教育委員会会議や教育委員の学校訪問など実施していきますので、よろしく願いいたします。

あと、効果的・効率的な教育行政推進につきましては、新しい教育大綱及び新しい教育振興基本計画を策定いたします。また、現在の教育振興基本計画が計画的に運用されるよう点検・評価を実施いたしまして、PDCAサイクルが実行されるよう取り組んでまいります。

私のほうからは以上でございます。

○ **学校教育課長（佐野政紀君）** 学校教育課です。資料の5ページを御覧ください。

施策ごとの重点項目を主にお話しさせていただきます。

まず、基本目標Ⅰ。「生きる力」の基礎の育成についてです。

Ⅰ-1は、幼児教育との関わりです。教育研究所の職員が担当し、幼保小の連携強化に取り組んでいます。幼保小連携推進会議及び連携協議会を核として、可能な限り相互の授業参観、情報交流をして、幼保小の円滑な接続が図れるように努めてまいります。

Ⅰ-2の確かな学力の向上のために、各学校において授業改善のための校内研修を進

めます。お互いの授業の工夫や児童・生徒の様子を交流することで、授業力を高めていきます。学校所員会での協働学習の研究も継続しています。

I-3の心の教育の推進として、各学校では「ひびきあいの日」の取組が位置づいています。他者とよりよい形で触れ合う工夫を進めています。

次に、基本目標Ⅱ. 未来社会を切り拓くための資質・能力の育成です。

a1aと連携したココロとカラダワークショップの活動を行うことで、伝え合うことの楽しさを味わえる取組を計画しています。また、ばら教室KANIでは、第1と第2の2つの教室を使った日本語指導の体制もできています。より児童・生徒の実態に合った指導を進めていきます。

Ⅱ-4のICT活用の推進については、GIGAスクール構想を生かし、1人1台端末の準備が整っています。授業でより効果的に活用できるように進めています。

6ページに移ります。

Ⅱ-5は笑顔の学校公表会についてです。11月2日にウェブによる公開を現在予定しております。

基本目標Ⅲ. 学びを支援する環境の整備・充実についてです。

教育研究所を中心にして、専門性を高めるための講座を開設し、研修を行います。ICTに関わる研修を進めることで、先生方がタブレットやプロジェクターを活用できるようにします。

また、Ⅲ-2のように働きやすい環境づくりのため、業務の効率化を図ることができるようICTを活用します。

Ⅲ-4・5にありますように、学校を支援してくださる専門家の力を活用することで、子供たちの学習面や生活面の困り感に対応する体制を取っていきます。

Ⅲ-6のコミュニティ・スクールは、今渡南小学校、広見小学校、西可児中学校区、西可児中学校区は春里小学校、南帷子小学校、西可児中学校がスタートします。準備期間を経て、土田小学校は5月よりスタートの予定です。以上でございます。

○ **学校給食センター所長（水野伸治君）** 学校給食センターでございます。7ページになります。

学校給食センターの施策といたしましては、安全で栄養バランスの取れたおいしい給食の提供と食育の推進となります。

給食の提供におきましては、衛生管理マニュアルや異物混入対応方針に基づきまして、子供たちに安心・安全な給食を毎日お届けしてまいります。

また、郷土食、地場産物の使用についても積極的に取り組み、地域の自然や文化、伝統、農業等に対する理解と関心を深めてまいります。

食について正しい理解と望ましい習慣を身につけていただくため、食育指導を引き続き実施してまいります。

給食費につきましては、原則として、保護者の皆様には口座振替による支払いをお願いしておりますけれども、適切な事務によりまして収納率の向上を図ってまいりたいと考えております。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ここまででよろしかったですね。ありがとうございました。ただいま各課から方針について説明がありました。



課ごとに分けて、御質問やら御意見等をお伺いしたいなあというふうに思っているんですけど、初めに教育総務課、3ページ、4ページで説明していただきましたところについての御質問等がございましたらお願いをします。

○ **教育委員（長井知子君）** トイレ大規模改造工事とありますが、これは洋式化だと思うんですけども、参考までに教えていただきたいことがあります。今、LGBTの子たちのトイレの問題で、男の子でも女の子でも入れるトイレというものがありますけれども、以前に教育委員会の会議でもちょっと議題として出たことがあると思うんですが、予算や場所等のちょっと厳しい問題もあるかと思うので、そうそう簡単には進められないとは思うんですけども、そういったのは今後計画的には考えていらっしゃるでしょうか。

○ **事務局長（飯田晋司君）** 多目的トイレについて設置をしていく方向で設計業務の中で考えております。基本的には校舎で1か所、体育館で1か所は確保していきたいなあということで、今、片方にしかないところとかも結構ありますので、今回の令和8年度までの大規模改修の中で追加していくところが結構何校も出たりとかしてくるかと思えます。基本的にはそういった改修計画で整えていくというふうに考えておりますので、よろしくお願ひします。

○ **教育長（堀部好彦君）** よろしいですか。ありがとうございました。

○ **教育委員（小栗照代君）** 御説明いただきましてありがとうございます。

学校プールの授業の在り方についてというところで、民間にというお話が少し出ていたんですけども、学校訪問をさせていただきますと、やはりコロナ禍で何年か授業ができていないということで、やっぱり安全面であったり、あと教え方であったりというところに不安があるようなお言葉をいただくことがやはり多かったです。それから、施設につきましても、経年の劣化というお話も今ございましたけど、それとプラスして、使わないことによって、かなり年数だけではなくて、傷んでいるというようなお話も伺いました。

私のほうから質問なんですけれども、民間にというところはこういったところで、どのような形をお願いをしていくのかなあというところをちょっとお伺いさせていただきたいと思って。

○ **教育総務課長（水野 修君）** これは決定でもなくて、これから検討していく形になっていくと思いますが、やはり民間に関しても受入れのキャパがありますので、全員が全員そこへ行ってやれるというわけでもない、そこも考えていかなきゃいけませんし、規模が小さいところであれば全員受けてもらえるよというところがあれば、例えば今言われたようなプールの施設の維持管理の経費、それから教えていただく先生の人数、そういったところも含めて総合的に考えながら、それよりかは民間のほうのプールを使わせていただいてやったほうが効率的にできるし、子供たちのためにもいい教育が受けられるのではないかということがあれば、そちらのほうも考えていく。

基本的には、やはりプールは各学校にありますので、そちらの傷んでいるところをしっかりと直しながら、改修し、使っていただけるようであれば使っていただくというようなこともしっかりと考えて、全体的に考えながらどうしていくかというのを今後検討させていただきたいというふうに思っております。

○ **教育委員（小栗照代君）** ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

プールの施設とか、プール全体の水泳指導については、今、教育総務課長が申し上げたとおりで、議会でも答弁させていただいたところでございます。ありがとうございます。

ほか、よろしかったですか。教育総務課について。

○ **教育委員（梶田知靖君）** 予算費用についてですが、多少は余裕を持たせてあるような感じでしょうか。というのは、私の仕事の中でも照明器具だったりとか、そういうのを扱うんですけども、去年の10月くらいに値上がりしたんですが、またこの4月から15%くらい上がったんですね。なので、LED化工事とかもあるので、僕が分かる範囲では照明器具とかそういったものになるんですけども、この4月から15%ベースの値上がりになっているので、どうなのかなあという。

○ **教育総務課長（水野 修君）** 基本的に予算を立てるときに関しましては、値上がりが分かっているものに関しては、その分、上積みをして予算を計上させていただきまします。ただ、年度途中でも予算が上がってきたりとか、そういうことも必ずしもないわけではないですので、そういったときは、例えばほかの事業をやらせていただいた余ったやつがあれば、それを使わせていただいたり、そういうわけにもいかなければ補正予算を組ませていただいたり、そういった対応をさせていただきながら予算を計画的にやっていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○ **教育委員（梶田知靖君）** ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしかったでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございます。

続きまして、学校教育課について御質問、御意見等よろしく願いをいたします。

よろしかったでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

では、給食センターにつきましてよろしく願いいたします。

○ **教育委員（小栗照代君）** いつも安心・安全、そしておいしい給食を作っていて本当にありがとうございます。

子供も、うちも大きくなったんですけども、いまだに給食の話、おいしかったということを行っているんですけども、そういったことが家庭でも話題になるんですが、ちょっと全然違う話なんですけど、御嵩町にも給食センターがあって、可児市の子供が何人かいただいていると思いますけど、例えばメニューとか、内容とか、安心・安全とかいうことで、何か御嵩町との交流みたいなものとかはあるんでしょうか。こちらのほうから維持費というのは出させていただいていると思うんですけども。

○ **学校給食センター所長（水野伸治君）** 栄養教諭、学校栄養職員が今3名常駐しておりますけれども、あらゆる形で情報交流をしておりますので、その中でメニューだったりというのは把握をしておる、情動的なものを把握しておると思います。すみません、私のほうではちょっと確認取れていませんが、そういった情報共有という話は聞いております。申し訳ありません。

- 教育長（堀部好彦君） よろしかったですか。
- 教育委員（小栗照代君） はい。
- 教育長（堀部好彦君） あとはよろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

では、今確認をさせていただいたとおり、このように1年間進めさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

では、議案第15号 可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱についてを議題といたします。

- 学校教育課長（佐野政紀君） 議案書7ページを御覧ください。  
議案第15号 可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱について。  
可児市学校運営協議会規則（令和4年可児市教育委員会規則第3号）第3条に基づき、下記のとおり学校運営協議会を設置し、学校運営協議会委員を委嘱する。令和5年4月14日提出、可児市教育長 堀部好彦。  
記1. 設置学校、土田小学校。  
2. 委員名簿、次ページのとおり。  
3. 委嘱期間、令和5年5月1日から令和6年3月31日。  
4. 委嘱人数、7人とあります。  
名簿につきましては、8ページをお願いいたします。  
可児市学校運営協議会委員名簿、土田小学校になります。以上です。

- 教育長（堀部好彦君） 今説明がありました可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱についてに御質問、御意見等ございますか。  
よろしかったですかね。

〔「なし」の声あり〕

では、御質問、御意見がないようですので、この件について原案のとおりとすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、原案のとおりとさせていただきます。

まだこの後ですが、ちょっと報告事項が続きますので、休憩を取ってよろしいですかね。

じゃあ、あの時計で10時20分まで休憩とさせていただきます。よろしく願いします。

休憩 午前10時08分

再開 午前10時20分

- 教育長（堀部好彦君） それでは、会議を再開いたします。

#### 報告事項

- 教育長（堀部好彦君） 次は、報告事項をお願いします。  
教育長への事務委任により委嘱または任命した委員について。
- 教育総務課長（水野 修君） それでは別紙3です。教育長への事務委任により委嘱または任命した委員についての冊子のほうを御覧いただきたいと思っております。  
こちらにつきましては、可児市教育長に対する事務委任規則の規定に基づきまして、

教育長が任命や委嘱をする委員の名簿となっております。昨年と同様、該当する委員の名簿を取りまとめて、一括して御報告させていただきます。

なお、本案件は教育委員会の議決事項ではございませんので、例年どおり情報提供として報告をさせていただいているものでございます。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今説明がありましたように、各学校等の評議員さんなど、教育委員会から教育長への事務委任により委嘱または任命した委員の名簿でございます。これについては報告ということですので、よろしくお願いたします。後で御覧ください。

次に、令和4年度学校給食費の収納状況について。

○ **学校給食センター所長（水野伸治君）** よろしくお願いたします。別紙4になります。支払督促の申立てについてでございます。

こちらは、給食費が長期間未納で数々の催告を実施してまいりましたが、納付いただいていない方に対して、弁護士により支払督促の申立てを先月2件行っております。現在のところは、債務者の方から異議申立てはない状況でございます。

裏面の表の収入明細のほうをお願いいたします。

令和4年度及び過年度分につきまして、それぞれの調定額、収入済額、不納欠損、収入未済額及び収納率を記載させていただいております。

3月末時点での令和4年度分の収納率は98.37%となっております。まだ令和4年度分の決算は5月末となりますので、収入額、収納率等、若干の変更があるかと思っておりますので、現時点で報告をさせていただきました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 今説明がありました給食費の収納状況について、御質問、御意見ございますでしょうか。

よろしかったですか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、次に瀬田幼稚園の認定こども園移行について。

○ **保育課長（可児浩之君）** 資料に基づきまして説明させていただきます。

瀬田幼稚園の認定こども園化ということによいよ着手してまいりたいということでございます。内部調整等も含めまして、これからということではございますが、教育施設にもなりますので、まずは教育委員会のほうに御報告ということで本日資料を提出させていただいております。

まず、基本的考え方というところでございますが、2行目ほどにあります、保育ニーズの高まりということで、特に可児市は外国籍児童が大変多いというようなこと、それから障がいのあるお子さん、医療的ケアを必要とするお子さんなどのニーズも大変高まっているということでございます。当然保育所、市内にたくさんございますけれども、現在なかなか空き数が少ないというような現状報告がございます。

それから一方、瀬田幼稚園のほうにおいては、幼保無償化が令和元年に始まりましたが、それ以降については園児数が減少をどんどんしてきていると。定員105人ということでございますが、現在半分ほど、50人ほどの状況ということでございます。そんな中で、この瀬田幼稚園のほうを、先ほど御説明しました保育ニーズの多様化等、保育の受皿ということで認定こども園化を進めていきたいということが趣旨でございます。

1枚めくっていただきまして、現状と課題ということで、先ほどの保育ニーズが増えているという点、①のところでございますけれども、この表のところにあります、3歳児のところのずうっと右を見ていただきますと、教育施設ということで幼稚園・認定こども園とありますが、こちらが3歳以上では半数以上の方が御利用いただいているというような現状がございます。ただ、そのうちの3割程度の方については、やはり保育ニーズについてもあるというような現状になっておりまして、幼稚園のほうは私立のほうでほとんど入っていただいている中で、市立という部分が瀬田幼稚園のところになりますが、令和4年度の4月現在では47人ということの入園者数になっているというような状況でございます。

それから次のページ、②、先ほど瀬田幼稚園の児童数が減っているということでございますが、この最初の表にございますとおり、平成29年には97名ほどいたものが、令和5年、今年の見込みですと49人ほどまで減ってくるという形。これは児童数全体が、市内当然子供たちが減っていますので、そういったこともございますが、そのような状況になるということでございます。

それから、③医療的ケア児の受入れということで、こちらが発達に問題のある子とか、医療的ケア児も含めましてですけれども、要望が最近増えてきている中で、やはり公立としてある程度受入れをしていかないといけないというような現状がございます。

そういった中で、現在は瀬田幼稚園とめぐみ保育園のほうに看護師を配置しまして、1名ずつの児童さんを見ているという状況で、さらに1名ほどが待っているような部分もあるわけなんですけれども、この辺りを将来的にも含めて受入れ体制を整えていく必要があるということでございます。

それから、最後4ページを見ていただきますが、実は今回の認定こども園化の一番の大きなところがこの4番目のところでございます、令和6年10月までは認可外の保育施設についても無償化となっておりますけれども、令和6年10月以降は、認可外施設については保育料が要は無償化にならないと。経過措置が終わってくるということでございます。そうすると、この四角の中に小さい字で囲ってありますが、現在、認可外保育施設のほうに通っている方が平均して88人、90人弱お見えになりまして、この方たちが実際無償化が切れちゃうと、やっぱり無償化の安いところのほうに基本は流れてくるのではないかとということが想定されます。その88人のうち、例えば6割の方が認可の保育所等に流れ込んでくると仮定をいたしますと、50人弱の保育枠というのを新たに確保しなければならないという現状がございます。

そんな中で、私立幼稚園でこども園化を予定しているところが1つございますので、そちらのほうで15人程度の保育枠は見込めるだろうということで今予定しておりまして、そのほかの残り40枠程度というものをやはり公立として受皿を確保する必要があるのではないかとということで、瀬田幼稚園のほうを保育もやる認定こども園ということに移行することで、その部分を確保していきたいということでございます。

今後のスケジュールの点でございますが、今日こちらで御説明させていただいて、この後庁内の庁議とか、そういった内部の検証のほうもさせていただきまして、基本的には令和6年4月、いわゆる令和6年10月に経過措置が切れてまいりますので、この子供たちが移動するのは年度初めということになりますので、令和6年4月には認定こども園

として開園をしていきたいと。その申込受付、入園申込受付を令和5年10月からやっていく必要があるということがございますので、そういったことを踏まえて6月の議会のほうで説明していき、9月に条例改正という形で対応してまいりたいというふうに考えております。

説明は以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今の御説明につきまして質問等ございますでしょうか。

○ **教育委員（小栗照代君）** 御説明いただきありがとうございます。

ほとんどの施設が基準を満たせなかったと仮定するとというふうに書いてあるんですけども、これは基準を満たさない可能性が大きいということでしょうか。その辺、ちょっと私分らないんですけども、教えてください。

○ **保育課長（可児浩之君）** 一応10件ぐらいの施設が今認可外でございますけれども、令和6年10月にそういった経過措置が切れちゃうんですけども、いわゆる認可のほうに施設を例えば整理するなり、体制整備するなり、その辺の意向はあるかということを確認させていただきました。ほとんどの園が、やっぱりそれは無理だということで、このまま認可外でいきたいということでございますので、資料には見込み、もしそうなったらと書いてありますが、ほぼ多分認可外のままいかれるということなので、90人弱がやはり流れてくる可能性があるということでございます。

○ **教育委員（小栗照代君）** ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ほか、よろしかったでしょうか。

本当に保育ニーズについて多様化が進んでいろんなことが求められている中、子育て支援策にも非常に注目が集まるということ、いろいろな背景がある中で適切に取り組んでいただいているなあということを率直に思いました。ありがとうございます。

教育委員会としては、幼保小の連携が教育内容ということなんですけれども、大変力を入れておりますので、その点につきましても今後連携等、何かお願いをすることやら、こちらがお引受けをすべきことがあれば、またお互い連携を取っていきたいなあというふうに思いますので、よろしくお願いをします。

よろしかったでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、ありがとうございます。

○ **保育課長（可児浩之君）** ありがとうございます。

（保育課長退席）

#### 各課所管事項

○ **教育長（堀部好彦君）** では、次に各課所管事項に入ります。

○ **事務局長（飯田晋司君）** お手元にお配りしました資料、令和4年度新型コロナウイルス感染症の市内小・中学校感染状況、カラー刷りの棒グラフの資料を御覧ください。

新入学の時期が終わって新学期始まりましたけれども、令和4年度の感染状況をまと

めました。

左側のグラフを見ていただきますと、月別の陽性者数が出ております。7月から9月、これが第7波です。それから12月から1月、完全にどこで切るとするのは難しいところがあるんですけれども、12月から1月にかけてが主に第8波ということで、この期間に年間の7割以上が発生したというのが昨年度の状況でございました。

新年度に入っても、数は少ないんですけれども、やはり若干陽性者・児童・生徒の報告がございます。新型コロナウイルスの対応につきましては、5月には感染症法の位置づけが5類に引き下げられるということになっておりまして、それによる学校の対応の変化、変更については、まだ不明な点もございますけれども、感染拡大の波がまた来るというふうにも一部で言われております。いずれにしても、早めに情報収集しながら、教育委員会と学校が連携して対応してまいりたいと思っておりますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（水野 修君）** 私のほうからは、この後、教育委員の学校訪問、こちらにつきましては例年6月から7月ぐらいの実施について検討、予定をしておりますので、御承知おきをいただきたいと思います。

また、先ほど方針と重点の中でも申し上げましたが、今年度は教育大綱を決定していきたいと思っておりますし、新たな教育振興基本計画の策定に入りますので、またこちらのほうでもよろしくお願ひしたいと思っております。

私のほうからは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（佐野政紀君）** 私からは4月の動きについて説明をさせていただきます。

先ほど教育委員さんから報告いただきましたけれども、4月7日に入学式と始業式を各学校で実施することができました。皆様には出席をいただきました。本当にありがとうございました。

各学校、式の運営については、校長会等でどう式を進めていくのかというベースは共有させていただくわけですけれども、各学校の主体性のある工夫がそれぞれ見られたのではないかなというふうに思っております。

可児市全体を見ますと、入学式、新1年生は1,723人でしたが、10人の子が欠席でした。そして始業式、在校生は6,216人ですけれども、そのうち211人が欠席をしておりました。

昨年度、不登校だった児童・生徒で、初日新たな気持ちで登校した子が何名いるのかわかりましたところ、143名の子が当日新たな気持ちで学校に足を向けることができたということで整理をしました。一方、75名のお子さんが初日欠席をしておりましたので、今後不登校児童・生徒に対しても、社会的自立ができるように手当てを講じていきたいなというふうに思っております。

うれしい報告が7日に入りまして、昨年度なかなか学校に登校できなかった児童に対して、始まって早々でしたが、学校の要望で今年度つながりサポーターを2名増員した

んですけれども、家とつなぐつながりサポーターさんがお見えですが、その学校が、要望のあった学校に出向いて本人と校舎内に入ることができました。その中で、新しいクラスや新しい担任を確認して、1年間の見通しの話をつなぐサポーターと一緒に入りまして新しい歩み出しをすることができたという報告を受けましたので、紹介させていただきます。

4月始まってから新型コロナウイルス感染症に係る動きですが、先ほど局長からもありましたけれども、陽性判明はゼロではありません。4月から昨日までで11人の報告を受けております。学級閉鎖はありませんけれども、注視し続けていかなければならないなというふうに思っております。

そのほか、生徒指導等を担当している真野主事より学校の様子を説明させていただきます。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** お願いします。

では、別冊の教育研究所よりの冊子を御覧いただきたいと思います。

私からは、今年度の教育研究所の事業運営について御報告をさせていただきます。

表紙1ページ目を御覧ください。

冒頭の教育長の話にもありましたが、今年度の可児市学校教育指導の方針と重点を載せてありますが、研究所が担う業務を丸で囲みました。また、担当主事も記しました。これを見ていただくと、そのほとんどを研究所で担う業務ということが分かるかなあということをおもいます。

その内容について、今年度新たに行う業務に絞って2点だけお話をさせていただきます。

1点目です。中段以下、7つ丸が囲ってあるんですけれども、その左上です。「未来を生きるあなたのために」という小見出しですが、これは不登校対策です。特に今年度は、以前お話した「笑顔の“もと”」プログラムを全小・中学校で行い、児童・生徒のコミュニケーション能力や人間関係形成力等を育てていきます。また、先ほど学校教育課長の話にもありましたが、スマイリングルームではつながりサポーターを新たに配置していただきました。今まで学校にもスマイリングルームにも足が向かなかった児童・生徒やその保護者の支援ということで、こちらも力を入れてまいります。

大きい2点目です。その下にある「みんなかっこいい」という小見出しですが、これは外国籍児童・生徒教育のことです。現在、外国籍児童・生徒は、蘇南中学校区といった集住地域だけでなく、散在地域の学校にも在籍するようになってまいりました。今まで集住地域の学校で培ってきた指導のノウハウを伝えたり、可児市にはばら教室やフレビアといったところもありますので、そちらと連携することで、国際教室がない学校に通う外国籍児童への支援も強化していきたいなあということをおもっております。

そのほか、右上にあります「ひとりひとりが輝く」というのは特別支援教育、「アキラカにしよう」というのは文字通り a 1 a との連携です。真ん中にどんとあるのは「かにしだいすき」、ふるさと教育です。その右側「可能性を引き出す新たな学び」、これは ICT 教育または学校所員会という教師の学びです。「わくわくどきどき小学校」は幼保小連携のことです。これらの業務を行いながら、今年度も研究所は学校を全



力で支えていこうというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校給食センター所長（水野伸治君）** 給食センターでは、先ほど方針と重点の中で少し触れさせていただきましたが、食育指導を実施しております。その中で、センターの栄養教諭や学校栄養職員が各小・中学校で食に関する授業というのを行っております。対象は学年ごととかクラスごととか、学校によって異なってまいりますけれども、内容としましては、好き嫌いをなくす工夫ですとか、食育マスターになろうですとか、受験に向けた食生活など、年齢・年代に応じた授業を実施してございます。

この4月は、私と栄養教諭で各学校を訪問させていただきまして、校長先生と給食主任の先生と顔合わせを兼ねまして、打合せスケジュール等の調整をさせていただいております。年2回ほど、給食の残量調査を実施させていただいておりますけど、新型コロナウイルスの対策による黙食の影響もあってか、令和元年度から昨年度まで残量が年々増え続けてきている状況でございますので、今年度は残量を減らすための食に関する指導というのを食育指導の重点項目といたしまして、1年を通して実施してまいりたいと考えております。よろしく申し上げます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、各課からの説明ありましたけれども、御質問、御意見等ございますでしょうか。

○ **教育委員（長井知子君）** 新生児が1,723人のうち、欠席者が10名とあったんですけれども、体調不良とかもあります。例えば小学校で不登校だった子がそのまま中学校にも行けないという子たちも含まれているんですか。

○ **学校教育課長（佐野政紀君）** 数の全体を把握したんですけれども、個別具体についてはまだリサーチができていませんので、今御指摘いただいた1,723人のうち、中学校が916人、そのうち3人が欠席をしています。そして、小学校は807人のうち7人の子が欠席をしていますので、その欠席の理由については今後報告が入りますので、またお伝えできればなと思います。

○ **教育委員（長井知子君）** ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。

○ **教育委員（長井知子君）** 給食に関してなんですけれども、残量を減らす指導を今後していくということですが、前回お聞きしたときに、センターのほうでビデオか何かをつくって子供たちに見せるという取組をされていて、すごくいいなと思ったんですけれども、またそういったこともされるということですか。

○ **学校給食センター所長（水野伸治君）** 今学校を回らせていただいて、いろんな教材ですとか、ビデオとか、そういったものがございますので、一覧にして先生に御紹介させていただいて、ぜひ学校での授業等で皆さんにお使いいただくように御案内はさせていただいております。

○ **教育委員（長井知子君）** 前に、センターの調理する過程だとか、例えば生ものを出せないからキュウリもゆでたりしますよね。きっとああいうのを子供が見ると、ああ、裏でこんなに人が自分たちのためにいっぱい作ってくれているんだと思うと、残しちゃいけないかなあという気持ちもきっと湧くと思うので、ぜひやっていただけた

らなと思います。

- **学校給食センター所長（水野伸治君）** ありがとうございます。

今年になって、やっぱり家庭教育学級等でも学校給食センターの試食の申込みもごさいますので、私どもからはそういった機会を通じてぜひ知っていただいて食育につながればと考えておりますので、よろしくお願ひします。

- **教育委員（長井知子君）** ありがとうございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしいでしょうか。

- **教育委員（小栗照代君）** 今の残量のことなんですけれども、その理由がコロナ禍で黙食ではないかというようなことをおっしゃってくださったんですが、この辺りはどういったことでこういった結論にされたのかなというところお伺ひしたいのですが。

- **学校給食センター所長（水野伸治君）** ちょっと結論づけてはございませんが、黙食でしゃべれなかったと。各学校を回らせていただいて、先生のお話の中で、前はグループになってわいわいしゃべりながら食べていたと。また、食べられない子の分を食べられる子が頂いたりすることもできていたというのもございましたので、その分も影響しているのではないかと、ちょっと詳細までは分析ができてございませんが、今後先生たちの中でやっぱりうどんですとか、物によっては食べる食べないというのが分かることもありますので、ちょっと詳細についてはまたいろいろ先生方のお話を聞きながら詳細を詰めていきたいと思っております。

- **教育委員（小栗照代君）** ありがとうございます。

先ほどお伝えしたように、給食おいしかったとうちの子供も言っておったので、ただ残量が増えたのはコロナだけではなくて、今おっしゃったように、いろんな要因があるということにもやっぱり目を向けながら残量を減らしていただくというのが大変大切かなと思いますので、また引き続きよろしくお願ひします。

- **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしいでしょうか。

じゃあ、私から3点お願ひします。

1点は給食についてなんですけど、献立表を見させていただきました。毎月ありがとうございます。今月の4月18日火曜日、私、給食を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。入学・進級お祝い献立、いいですね。楽しみにしています。事務局の職員、結構ちょくちょく聞くことが昨年もありまして、教育委員さんも、それから皆さんもどんどん行っておいしい給食を食べたいなあというふうに思います。取りあえず、私、18日よろしくお願ひします。

2点目ですが、つながりサポーターについての説明をしていただきました。これは大変力を入れているものです。この予算、厳しい中で2名も増員をしていただいた。この事務局にね。大変ありがたいなあと思っている。それだけ期待の高いものであるというふうに思います。「広報かに」にも、つながりサポーターについて予算のところで触れられているということでございますので、私としては、この教育委員会会議でつながりサポーター2名の動きについて、進捗の状況を口頭で構いませんので、今日のような形でお知らせをいただけると大変ありがたいなあというふうに思っています。これが2点目です。

3点目ですが、教育研究所の資料の1ページ目、各校を支援する重点事業の分担を明

確に示していただいております。私としても、いつもこのリーフレットを使いながらいろんなところで話をしたいなあというふうに思っています。この間は、校長会、教頭会でこの資料を使って説明をさせていただきました。

上北さん、次回の校長会、教頭会においても、この資料を使って話をしたいなあというふうに思っていますので、教頭会は次回はすぐないか。取りあえず次回の校長会、来月の校長会でこれを使いたいと思いますので、また持ってきてくださる旨、連絡をお願いします。

これで3つお話ししたね。以上で私からは3点です。

ほかはよろしかったですか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございました。

### 委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** では、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かありますでしょうか。

よろしかったですか。

〔挙手する者なし〕

### その他

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次にその他に行きます。

次回の日程等です。

- **教育総務課長（水野 修君）** 先月、次回の5月の会議、5月26日というふうに決めさせていただいたところでございますが、ちょっと日程の変更をさせていただきたいというふうに、こちらのほうから御連絡させていただいておりますが、その調整をさせていただきまして、5月12日金曜日午前9時から、今度はこの市役所5階の第1委員会室で開催という形でお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それから6月の日程でございますが、こちらちょっと先に御連絡だけさせていただいたところでございますが、調整の結果、6月23日金曜日午前9時ということでお願いしたいんですが、いかがでしょうか。

よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

ありがとうございます。それでは、6月23日金曜日午前9時からよろしくお願いたします。また、その日の午後1時半から総合教育会議も予定させていただきたいなあと思っておりますので、御承知おきをいただきたいと思います。場所は同じく5階の第1委員会室を予定しておりますので、お願をいたします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** それではよろしくお願をいたします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

○ 教育長（堀部好彦君） 以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。

閉会 午前11時05分